



TITLE:

故名誉教授神戸正雄博士遺影および筆蹟・原稿

AUTHOR(S):

CITATION:

故名誉教授神戸正雄博士遺影および筆蹟・原稿. 経済論叢 1959, 84(6)

ISSUE DATE:

1959-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/132727>

RIGHT:

經濟論叢

第八十四卷 第六號

故名誉教授神戸正雄博士遺影および筆蹟・原稿

統計学＝社会科学的認識手段論の

問題点……………大 橋 隆 憲 1

資本主義の運動法則における

論理的なものと歴史的なもの(二)…吉 村 達 次 17

急速税務減価償却をめぐる

所得税会計の保守主義……………高 寺 貞 男 37

ヘンリ・ジョージについての一考察…北 沢 康 男 55

ソースタイン・ヴェブレンに関する

一研究……………中 山 大 68

神戸正雄先生による

再保険特約方式の輸入……………佐 波 宣 平 85

記 事

神戸先生御逝去 ……………91

追 憶 文 ……………96

新 村 出	井 藤 半 弥	本 庄 榮 治 郎	小 島 昌 太 郎
石 川 興 二	嵯 川 虎 三	大 谷 政 敬	小 山 田 小 七
堀 江 保 藏	島 恭 彦	松 井 清	

昭和三十四年十二月

京 都 大 學 經 濟 學 會

謹んで

哀悼の意を表す

京都大学経済学会



故神戸正雄博士

研不精沈

先政経歴

(一) 慎重——冒險を行はず。踏車、板橋を行は
ず。株を買ふことをしあつた。学生時代にも
山かけ勉強をせず、ノートに限る。読書した。
(二) 協調——人と争ふことを避く。同僚の苦
しみを知りつゝ、嫌う顔に返つた。
(三) 勤勉——小休の時から勉強努力をつづけた。
若くは勉強、則ち直學であつたのである。
(四) 規律——勉強しても、勉強、或る程度は欠
かすもの。規律を守り、疑問には休む。勉強

生 活 態 度

- (一) 慎重——冒險を行はず。賭博、投機を行はず。株を買うことをしなかった。学生時代にも山かけ勉強をせず、ノートを隅なく読破した。
- (二) 協調——人と争うことを避く。同僚の間の調和につとめ、纏め役に廻った。
- (三) 勤勉——小供の時から勤勉努力をつづけた。恐らく勉強、則、道楽であったのであろう。
- (四) 規律——勉強しても、勿論、或度の休息は欠かさない。規律を守り、夜間には休み、勉強は出来るだけ昼間に行うことにした。
- (五) 儉約——無駄遣せず、必ず節約した。此も少年時代からの自らの癖であった。少年時代の小遣、お貨金は一切、郵貯にしていた。其が十四才の時に起きた尾濃震災の時の郷里の親の家の再興費に充てることが出来た。其金高は五十円ばかりであるが、今の金にすれば四五十万円に当るであろう。名古屋の中学に居た頃、自家に帰るときに汽車には乗らず、五里の道を徒歩で済ませた。
- (六) 奉仕——節約、儉約、儉約ではあったが、乱りに蓄財するのではなく、公に奉仕することを怠らず、余ったものは努めて寄附した。親から貰った相続財産の全部（土地）は之を郷里の小学校に寄附した。後日、金若干万円を特に京大経済学会にも寄附した。其他、適時寄附した。
- (七) 生活——煙草は初めから飲まない。酒は若い時には父の慣習に従い飲み覚えたと、二十八年の時から之を禁止した。食事は八分目主義で、節食を旨とした。